

リベラルアーツセンター

リベラルアーツセンター

リベラルアーツセンター

城西大学のリベラルアーツ教育

リベラルアーツ教育が目指すのは、多様性を理解し自由に考える力の育成です。本学のリベラルアーツ教育は、建学の精神である「学問による人間形成」を、全学共通で展開する授業での学びを通じてより具現化させることを目指しています。

これからの社会を生き抜く力としてのリベラルアーツを学生が身につけることができるよう、さまざまな機会を提供します。

リベラルアーツ教育の目的

現代社会は、テクノロジーの発展やグローバル化の進展により、複雑化し、未来予測が困難になっています。このような社会に対応するためには、知識を学ぶだけではなく、自由に発想できる力、つまりリベラルアーツが大切です。本学のリベラルアーツ教育は、学生が以下の能力を獲得できることを目的にしています。

1. 幅広い学問分野に関わる知識と考え方

時代の変化に伴い、学問の領域も広がっています。リベラルアーツ科目は人文学や情報科学など、さまざまな科目群の準備があります。多様な学びを通して自分の専門へどのように連動させるか、活発なディスカッションを通し自由な発想や考える力を鍛えましょう。

2. クリティカルシンキング

学びながら「この判断は？、この回答は？」と、広く深く考えることは大切です。例えば、データを正しく処理し読み取ることは、文系理系の学問の枠を超えます。グループ活動で意見を出し合いより良い結論を生み出しましょう。

3. 協創する力

城西大学の建学の精神である、学問による人間形成は「学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段である。」とあります。ともに学び、ともに考え、ともに協創する活動を楽しむアクティブラーニング型の学びを体験しましょう。

4. 心身の健康

競技スポーツや健康スポーツなどのスポーツ活動は自己実現へ向けた活動の1つと捉えることができます。例えば、自分自身に目をむけて、心身を知る、ストレスや癒しについて考える等、健康科学の側面を学びましょう。

センターの取り組み

リベラルアーツ教育科目では、学生が自発的に考えることが大切です。学生の自発的な思考を促すため、より良い授業の運営を考えるため、教員もまた学び続ける必要があります。センターでは、FDや勉強会、講座の開催を通じて、教員の教育力の向上を目指しています。